

働きすぎ黒書 ニュース

全日本教職員組合（全教）生権局

東京都千代田区二番町 12-1 3 F

2006年7月6日

“和歌山編” その3を紹介していきます。

子どものための時間がもっとほしい

小学校 40代 男性

私は小学校3年生の担任をしています。本校は全校児童800人、クラスの児童数は33人で、不登校の児童も一人います。

多くの小学校では同じような状況だと思いますが、小3では「専科教員」による授業はなくて、月曜日の1時間目から金曜日の6時間目まで、週28時間、すべて担任が授業をしなければなりません。国語・算数・理科・社会・音楽・図工・体育・道徳・総合的な学習の時間・特活……。毎日、目の回るような忙しさです。

6時間目が終わって、終わりの会をして児童を下校させると時計は4時になっています。それから、子どものノートをみたり、日記に返事を書いたり、学級通信を書いたり……。とても5時までという勤務時間内に終わることができません。さらにそこに「報告書」や「計画書」「調査」など教育委員会から、山のようにおりにきます。教員の本務である「授業」を工夫・研究して子どもたちに少しでもわかりやすく指導したいと思っても、自宅で夜にするか、休日に出勤するかしないと教材研究・授業準備の時間もとれません。ですから、ついつい、教科書や指導書どおりのワンパターンの授業になってしまいます。また、授業中に「この子、まだわかっていないな」と思っても、放課後残してその子を個別指導する時間もとれず、結局、子どもたちを「落ちこぼし」てしまっているのです。

結局、教職員の多忙は教職員自身の問題だけではなく、子どもたちがその犠牲になってしまっています。「そんなのは教師の力量でなんとかなる。ようは力量不足だ」と言う方もありますが、私のような状況で授業も何もかも完璧にこなせる「スーパーマン教師」はごくわずかで、大多数の教師は何とかしたいと思いつつも、どうすることもできず、苦悩しています。

私は教師の本務は「授業」だと思っています。この授業にもっと力を入れ、子どもたちにしっかりとした学力を身につけさせたいと思っています。そのためには時間的な保証が絶対に必要です。もっと教職員数を増やしてください。せめて、1日に2時間くらいは「教材研究」「授業準備」の時間が取れるようにしてください。これは私たち教職員の切実な願いです。

来る日も来る日も部活動。

中学校 男性 30代

私は大学時代にテニスをしていましたが、今の学校に来てからはずっとバスケットボール部を担当しています。自分がずっとやってきたスポーツならまだましですが、まったく経験の無いスポーツを担当するのは大変です。

練習は普段は日曜日以外の週6日。大会前になると日曜日も練習があります。運動会などの学校行事であれば休日に勤務しても代休がありますが、部活動では代休などくれません。

平日は早朝練習から始まって、放課後は6時半まで練習です。会議や出張などでどうしても無理なとき意外は万が一の事故があつてはいけないので、練習に立ち会います。もちろん学級担任を持ち、授業も週18時間担当しています。授業準備や学級事務などは練習が終わってからなので帰宅はいつも9時前後になります。土曜日朝から昼までは練習です。子どもたちは一生懸命がんばっていますが、さすがに授業と部活でしんどそうなきもありません。やっぱり休息も必要なのではないでしょうか。

一度、子どもたちに土曜日の練習をやめようかと提案したことがあります。そしたらすぐに保護者から「ほかの部活は休まないのにどうしてバスケット部だけ練習しないのか」「試合に勝つためには練習は必要だ」と厳しく抗議されました。学校教育における部活動の意味は十分わかっているつもりです。「部活大好き」という子どもたちもたくさんいます。しかし、子どもにとっても教師にとっても一番大切にしなければいけないのは授業だと思います。現状では部活に時間をとられ、授業準備がおろそかになってしまっています。

また、平素の超過勤務や休日の部活で私自身の疲労もピークに達しています。プライベートなことですが、わが子といっしょに夕食をとったり、休日に遊びに出かけることもほとんどできません。私ももうすぐ40歳を迎えます。体力的にもそろそろ限界に来ているような気がします。

ほんとうに忙しい！

中学校 女性 50代

朝、職朝（職員打ち合わせ）までの時間、学年へ提案のプリントをコピーして配布。職員室前で担任を待っていた生徒への対応が入る時もある。職朝での打ち合わせ事項も多い。今、1学期の記録ノートを見てみると、朝のHR（学級活動）で連絡事項や集め物等がなかった日はない。もっとゆったりと朝の子どもたちと生活の会話がしたいのに。後で空いた時間に、それら集め物等の整理をしなければならないことは言うまでもない。しかし、唯一の空き時間には、校舎内の見回りが週何回か入る。週1回の昼の玄関での立ち当番もある。修学旅行（6月1日～）までの4・5月は、とくにトイレに行く時間も無いくらい。旅行業者との連絡、プリントの段取り、生徒への指示、生徒指導等。放課後、生徒とじっくり話したいと思っても、放課後には何らかの会議・行事・打ち合わせが入っていてまならない。最も生徒も部活や塾で忙しいのだが。ちなみに、私の場合、放課後何も入っていなかったのは4月は1日だけ。5月は3回（しかし内2回は私の所属していない会議が行われている）6月は1日だけという状況である。学級日誌に目を通して、机の上を整理し終わってふと気が付けばもう5時半か6時という日がほとんど。

修学旅行が終ってホッとしたのもつかの間、成績集計準備や「総合の学習」の準備等。「総合の学習」では係りでの打ち合わせ 原案のプリント作成 係りで検討 修正のうえ学年へ提案 修正のうえプリント印刷 実践、と学習内容を練り上げるという時間的なゆとりもなく、最近では係りから「こうして下さい」というやり取りになることが多くなってきた。もっと、生徒とのつながりを大事にしたいと思うから何らかの取り組みをすれば、また忙しくなって持ち帰り仕事が増える。もっと、ゆったりと生徒と向き合う時間的なゆとりがほしい。